

ちよつと待て!ちよつと待て!

嚴重注意!! に抗議!

4月1日、今泉総務科長立ち会いのもと、勝見副所長から前田さんに対して「2月28日、大阪第二運輸所において、管理者に対して暴言を發したことは社員として不都合な行為である。よって、嚴重注意する」と一方的に通告してきました。

その中で、前田さんは「伴助役の件については、パワハラとして苦情申告しています。何が暴言にあたるのか教えて下さい」と確認したところ、勝見副所長と今泉総務科長は「知らない、分からない、教えない」との一点張りで、明確な回答はありませんでした。

そもそも、前田さんは会社から暴言とやらについて事情聴取されていないし、時系列作成もしていません。一体何が暴言なんでしょう?

以下が、会社に強要された2月28日の事象の時系列です。

【伴助役他3名の助役とのやりとりについて】(2月28日)

● 13時53分頃

指導科での事情聴取を終了し指導科を退室する際に、事情聴取に全く関係の無い伴助役から「注意指導ばかりやな」と、現在係争中の裁判に介入する問題発言がありました。

私は、その発言に対して「それ何ですの、法廷でちゃんと証言して下さいよ」と返答しました。その直後、福田助役、児玉助役、辻井助役が私に近寄り、児玉助役が「何だ暴言だ」と挑発されました。私は、「何が暴言、裁判において私が原告で貴方は被告の立場です。法廷で証言して下さい」と言いました。

○ 13時56分

乗務点呼

今、職場は、会社による強権的・非人間的な徹底した労務管理により、物言えぬ職場環境となっています。

私たちは、物言える明るい職場環境を創るために「捏造された暴言」による「嚴重注意処分」通知に怒りを持って抗議します!

さらに竹本さん、山口さん、前田さんの本人訴訟を組織全体で支援し、会社の不当な実態を社会的に明らかにし、闘いを進めます。

会社は、直ちに嚴重注意 処分を撤回しろ!